



あかまつ

学校教育目標

深く考える子ども
明るく思いやりのある子ども
丈夫でたくましい子ども

重点教育目標 「わかる できる つかえる 子ども」の育成
～「安全 安心 安定」のある学校をめざして～

目標を持つ大切さ

学校の前庭のコスモスが咲き始め、赤とんぼが飛び交い、秋の訪れを感じる中、静まりかえった校舎に子どもたちの笑顔と元気な声が戻ってきました。今年度から夏休みが30日間となりました。どんな夏休みを過ごしたでしょうか？今年の夏もコロナ禍でしたが、行動制限がなく各地で花火大会やお祭りなどがたくさん開催されました。きっと遠くにいる親戚と会ったり、お祭りや旅行に行ったりと学校で得ることができない貴重な学びをたくさんできたことと思います。

さて、2学期がスタートして10日ほどが経ちました。先日、教室をのぞくと、子供たちが2学期の目標作りをしていました。学期はじめのとても大切な学習です。「国語の漢字を書けるようにする。」「廊下を走らない。」「相手の気持ちを考えて温かい言葉を使う。」など様々です。何を書いたらいいのか悩み、全く進まない子供もいました。でも、担任の先生や支援員さんなどが適切なアドバイスをすることで、最終的には、全員が立派な2学期の目標を完成させることができました。

目標を立てる行為は、大人でも難しいのですから、子供にとってはすごくたいへんなものです。なぜなら、現在の自分の姿をしっかりと認識し、未来の自分の姿を想像しながら、無理のない目標にしていく必要があるからです。目標は、高すぎても、低すぎても意味がなくなります。努力すれば達成できる目標をコツコツ積み重ねることで自分の成長につながり、未来の自分を育てることもつながっていきます。

古代ギリシャの哲学者のアリストテレスは「人間は、目標を追い求める生き物だ。目標に向かい努力することによってのみ、人生が意味あるものとなる。」という言葉を残しています。人間は、生まれながら向上心をもっています。自らの意志で目標を定めることができます。現代社会は、人間のたゆみない向上心により、様々なイノベーションがもたらされ豊かな社会へと変容してきました。これからは、Society5.0という現実空間と仮想空間が高度に融合した社会になるといわれています。この先10年後には、今では想像もつかない社会となっているかもしれません。子供たちは、その社会の中で自分らしく生きていくために必要な力を今から身に付けていく必要があります。

七重小学校では、2学期も引き続き、ICTの積極的な活用や少人数指導などきめ細やかな教育活動を進めていきます。そして、全職員が子ども一人一人に寄り添いながら「わかる できる つかえる」子供の育成に全力を挙げて取り組みます。確かな学力を育み、様々な体験活動や協働活動を通して、子供たちの大切な目標をかなえる教育を進めていくために、2学期も引き続き、家庭や地域の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



コロナウイルスに注意を！

新型コロナウイルス感染症の終息する気配が見られません。学校では引き続き感染症対策を徹底した上で教育活動を進めていきます。お子様や同居する家族に風邪の症状（せき、のどの痛み、だるさ、発熱など）がある場合は、無理して登校させず、家庭で様子を見てください。

万が一、お子様や同居する家族が陽性となった場合は、平日は学校に、休日はPCR結果報告フォームでお知らせください。

普段の教育活動の様子については七重小学校HPをご覧ください。現在、日記の更新が200回を超えました。
＜毎日更新中＞

<https://www.town.nanae.hokkaido.jp/education/category/501.html>

